

# かほく市 道路脱炭素化推進計画

令和8年10月

かほく市

はじめに

国では、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化対策計画」（2025 年 2 月 18 日閣議決定）において、温室効果ガス排出量を 2013 年比で、2030 年度には 46%削減（さらに 50%の高みに向けて挑戦）、2035 年度及び 2040 年度にはそれぞれ 60%削減、73%削減する目標を定めています。

国内の CO<sub>2</sub> 排出量の状況を見ると、国内全体の概ね 3 分の 2 がインフラ分野にかかわりのあるものとなっており、このうち、道路は、国内全体の約 18%（2023 年度）をしめている。このため、カーボンニュートラルの実現に向けては、道路分野においても、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを着実に進めていく必要があります。

こうしたなか、国では、2025 年 10 月の道路法改正により、道路管理者が協働して脱炭素化を推進するため、「道路脱炭素化基本方針」に基づき、道路管理者が「道路脱炭素化推進計画」を策定する枠組みを導入しました。

また、本市においては、第 3 次かほく市総合計画において、横断的戦略として、カーボンニュートラルを推進すると位置付けていることから、道路の脱炭素化を計画的かつ着実に推進するため、「かほく市道路脱炭素化推進計画」を策定するものです。

かほく市では、①道路管理分野 ②道路整備分野 ③道路利用分野 の 3 分野で個別の施策を推進し、道路建設から管理までのライフサイクル全体における CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目指します。

## 0. 施策の基本的な方向性

### ◎道路のライフサイクル全体の低炭素化

- ・道路建設から管理までのライフサイクル全体における CO<sub>2</sub> 排出量について、新技術を積極丁に取り入れながら削減を推進します。

### ◎低炭素な人流・物流への転換

- ・自動車による輸送を代替えできる部分については、ハード整備と利用促進のためのソフト施策を両輪として、公共交通、自転車、新たなモビリティ、徒歩等の低炭素な移動手段への転換を促進します。

### ◎道路交通の適正化

- ・自動車から CO<sub>2</sub> の排出削減につながるよう、相対的交通容量が低下しているボトルネック箇所や、局所的な渋滞が発生している箇所における対策を行い、道路交通の適正化を図ります。

## 1. 道路の脱炭素化の目標

### (1)「道路管理分野」の目標

#### 1)「道路管理分野」全体の CO<sub>2</sub> 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO<sub>2</sub> 排出量を示します。

表 1 道路管理分野における CO<sub>2</sub> 排出量

| 区分                                     | CO <sub>2</sub> 排出量 |
|----------------------------------------|---------------------|
|                                        | 2013 年度（基準年度）       |
| 1. 道路関係車両からの CO <sub>2</sub> 排出量       | 3.4t                |
| 2. 道路照明の電力消費による CO <sub>2</sub> 排出量    | 664.1t              |
| 3. 道路設備・施設の電力消費による CO <sub>2</sub> 排出量 | 9.7t                |
| 計                                      | 677.2t              |

## 2)「道路管理分野」全体の CO<sub>2</sub> 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は、以下のとおりとします。

表 2 道路管理分野における CO<sub>2</sub> 削減目標

|                       | 2030 年度  | 2040 年度  |
|-----------------------|----------|----------|
| CO <sub>2</sub> 目標削減率 | 46%      | 73%      |
| CO <sub>2</sub> 目標削減量 | 311.5t/年 | 494.5t/年 |

## 3)「道路管理分野」の個別施策毎の CO<sub>2</sub> 削減目標

「道路管理分野」全体の CO<sub>2</sub> 削減目標の達成に向けて、「道路関係車両の電動車化」、「道路照明の LED 化」及び「再生可能エネルギー活用」により、2013 年度比でそれぞれ 2030 年度 までに以下のとおり CO<sub>2</sub> の削減を目指します。

表 3 取組の実施による CO<sub>2</sub> 削減量

| 取組内容           | 各取組の整備指標          |         |         | CO <sub>2</sub> 削減量 |          |
|----------------|-------------------|---------|---------|---------------------|----------|
|                | 2013 年度<br>(基準年度) | 2030 年度 | 2040 年度 | 2030 年度             | 2040 年度  |
| 1. 道路関係車両の電動車化 | 0 %               | 33%     | 100%    | 0.6t/年              | 1.8t/年   |
| 2. 道路照明の LED 化 | 44.8%             | 100%    | 100%    | 444.1t/年            | 549.7t/年 |
| 3. 再生可能エネルギー活用 | 0%                | 10%     | 55%     | 1.0t/年              | 6.4t/年   |
| 計              |                   |         |         | 445.7t/年            | 557.9t/年 |

## （２）「道路整備分野」の目標

道路整備分野の CO<sub>2</sub> 削減策として、「中温化（低炭素）アスファルトの利用推進」の取組の検討を始めます。

2040 年の「中温化（低炭素）アスファルトの合材出荷率」を 5%とすることを目標とする。

表 4 道路整備分野における施策の整備指標

| 取組内容                | 中温化（低炭素）アスファルトの合材出荷率 |         |         |
|---------------------|----------------------|---------|---------|
|                     | 2013 年度(基準年度)        | 2030 年度 | 2040 年度 |
| 中温化（低炭素）アスファルトの利用推進 | 0.0%                 | -       | 5%      |

※2025 年度現在、中温化（低炭素）アスファルトの提供が可能なプラントは首都圏を中心に整いつつあるため、首都圏による試行状況を注視し、安定的な供給が見込まれた段階で本格導入を目指します。

## （３）「道路利用分野」の目標

道路利用分野の CO<sub>2</sub> 削減策として、「自転車の利用促進」及び「EV 急速充電器の設置促進」の取組を実施します。

2040 年の「自転車通行空間の整備延長」を 11,800m、「EV 急速充電器の設置数」を 4 口/2 駅 とすることを目標とする。

表 5 道路利用分野における施策の整備指標

| 取組内容         | 整備延長          |         |         |
|--------------|---------------|---------|---------|
|              | 2013 年度(基準年度) | 2030 年度 | 2040 年度 |
| 自転車通行空間の整備延長 | 8,800m        | 10,000m | 11,800m |
| EV 急速充電器の設置数 | 2 口/2 駅       | 4 口/2 駅 | 4 口/2 駅 |

## 2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

### (1) 道路管理分野

道路管理分野の CO<sub>2</sub> 削減目標の達成のための取組は、以下のとおりです。

#### 1) 道路関係車両の電動車化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路関係車両は 1 台の電動車化を進めます。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路関係車両は 3 台の電動車化を進めます。

表 6 道路関係車両の電動車化

| 対象車種   | 2013 年度<br>(基準年度) | 2030 年度 | 2040 年度 |
|--------|-------------------|---------|---------|
| 道路関係車両 | 0 台               | 1 台     | 3 台     |

※電気自動車のほか水素エンジン等脱炭素に資する新技術についても、その実用性を勘案し導入を検討します。

### 2) 道路照明の LED 化

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路照明の 100.0%を LED 化します。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路照明の 100.0%を LED 化します。

表 7 道路照明の LED 化率

| 取組内容       | 2013 年度<br>(基準年度) | 2030 年度 | 2040 年度 |
|------------|-------------------|---------|---------|
| 道路照明 LED 化 | 0%                | 100.0%  | 100.0%  |

### 3) 再生可能エネルギー活用

(2030 年度までの取組)

2030 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 10%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達を進める。

(2040 年度までの取組)

2040 年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を 55%にする。

なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達を進める。

表 8 調達電力の再生可能エネルギー比率

| 2013 年度(基準年度) | 2030 年度 | 2040 年度 |
|---------------|---------|---------|
| 0%            | 10%     | 55%     |

## (2) 道路整備分野

道路整備分野の取組は、以下のとおりである。

### 1) 中温化（低炭素）アスファルトの利用推進

(2030 年度までの取組)

中温化（低炭素）アスファルトについては、全国（特に首都圏）で試験導入のため、2030 年度までの「中温化（低炭素）アスファルトの合材出荷率」の目標は定めない。

(2040 年度までの取組)

試験導入の結果を受け、中温化（低炭素）アスファルトの利用に一定の効果が認められた場合、2040 年度までに「中温化（低炭素）アスファルトの合材出荷率」を 5.0%とする。

表 9 道路整備分野における施策の整備指標（再掲）

| 取組内容                | 中温化（低炭素）アスファルトの合材出荷率 |         |         |
|---------------------|----------------------|---------|---------|
|                     | 2013 年度(基準年度)        | 2030 年度 | 2040 年度 |
| 中温化（低炭素）アスファルトの利用推進 | 0.0%                 | -       | 5.0%    |

### (3) 道路利用分野

道路利用分野の取組は、以下のとおりである。

#### 1) 自転車通行空間の延長及び EV 急速充電器の設置数

(2030 年度までの取組)

- ・ 自転車通行空間の延長

2030 年度までに延長を 10,000m とする。

- ・ EV 急速充電器の設置

2030 年度までに設置数を 4 口 とする。

(2040 年度までの取組)

- ・ 自転車通行空間の延長

2040 年度までに延長を 11,800m とする。

- ・ EV 急速充電器の設置

2040 年度までに設置数を 4 口 とする。

表 10 道路利用分野における施策の整備指標（再掲）

| 取組内容             | 整備延長          |          |          |
|------------------|---------------|----------|----------|
|                  | 2013 年度(基準年度) | 2030 年度  | 2040 年度  |
| 自転車通行空間<br>の整備延長 | 8,800m        | 10,000m  | 11,800m  |
| EV 急速充電器の<br>設置数 | 2 口/ 2 駅      | 4 口/ 2 駅 | 4 口/ 2 駅 |

#### (4) ロードマップ

記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表 11 かほく市の脱炭素化に係るロードマップ

| 取組分野   | 取組内容                | 2027年度         | 2028年度 | ～2030年度     | ～2040年度                 |
|--------|---------------------|----------------|--------|-------------|-------------------------|
| 道路管理分野 | 道路関係車両の電動化          | 導入計画検討         |        | 試行導入・検証     | 導入                      |
|        | 道路照明のLED化           | LED道路照明への交換・導入 |        |             | センサー照明の導入検討 → センサー照明の導入 |
|        | 再生可能エネルギー活用         | 再エネ電力調達の入札案件検討 |        | 再エネ電力調達への移行 |                         |
| 道路整備分野 | 中温化（低炭素）アスファルトの利用推進 | 導入計画検討         |        | 試験的導入・検証    | 本格導入                    |
| 道路利用分野 | 自転車通行区間の整備          | 整備計画検討         |        | 整備          |                         |
|        | EV急速充電器の設置数         | 整備計画検討         |        | 整備          | 整備範囲拡大の検討               |